※令和７年度以降入学生用

学校番号	３２６

令和８年度　地理歴史科

教科	地理歴史	科目	地理総合	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	わたしたちの地理総合　改訂版（山川出版社）						
副教材等	新詳地理資料　COMPLETE　2026　クラウド配信版（帝国書院）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

生徒の皆さんが近い将来、社会に参画し、課題と向き合い、それを解決する力を身につけられるように様々なことを学習します。定期テストや小テスト、授業プリントや調べ学習、討論や発表など様々な課題に対してバランス良く取り組むようにしてください。

２　学習の到達目標

（１）現代世界の地域的特色と日本及び世界の歴史の展開に関して理解するとともに、調査や諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。

（２）地理や歴史に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、社会に見られる課題の解決に向けて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。

（３）地理や歴史に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、わが国の国土や歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての理解を深める。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	地理に関わる諸事象に関して，世界の生活文化の多様性や，防災，地域や地球的課題への取組などを理解する。 地図や地理情報システムなどを用いて，調査や諸資料から地理に関するさまざまな情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。	地理に関わる事象の意味や意義，特色や相互の関連を，位置や分布，場所，人間と自然環境との相互依存関係，空間的相互依存作用，地域などに着目して，概念などを活用して多面的・多角的に考察したり，地理的な課題の解決に向けて構想したりする力や，考察，構想したことを効果的に説明したり，それらを基に議論したりする力を養う。	地理に関わる諸事象について，よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究，解決しようとする態度を養うとともに，多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚，我が国の国土に対する愛情，世界の諸地域の多様な生活文化を尊重しようとすることの大切さについての自覚などを深める。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和７年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	地理情報と地図	1,2　球面上での生活 3　世界地図でとらえる地球	a:**地球を球面として捉え，球面上の位置・方位・距離について正しく認識し，季節・気候を生み出すことを理解している。** b:**球体である地球上での位置・方位・距離を正しく読み取ることができる。** c:**球体としての地球を把握し，さまざまな図法による世界地図の理解に向けて，作業などに意欲的に取り組もうとしている。**	・小テスト ・定期考査 ・授業プリント	・定期考査 ・発表 ・調べ学習	・授業プリント ・発表 ・調べ学習
	国家の領域と領土問題	1　国家の領域と海洋の役割 2　日本の位置と領土問題	a:**国家の領域に関する知識を身につけ，海洋の役割，領土問題について理解している。** b:**日本の位置と領域について世界的視野から捉え，日本の領域をめぐる問題を考察し，まとめることができる。** c:　地域や国家間の結びつき，日本の領域に関する諸問題について，興味・関心をもって授業に臨もうとしている。	・小テスト ・定期考査 ・授業プリント	・定期考査 ・発表 ・調べ学習	・授業プリント ・発表 ・調べ学習
	日常生活の	1　身の回りにあるさまざまな地図 2　地理情報システム（GIS）のしくみと使い方	a:さまざまな地図に関する基本的な知識を身につけ，日常生活における地図利用の有効性を理解し，活用することができる。 b:さまざまな地図や地理情報システムの特性を理解し，使用目的に応じて適切に表現している。 c:身の回りのさまざまな地図に興味を持ち，積極的に活用しようとする。	・小テスト ・定期考査 ・授業プリント	・定期考査 ・発表 ・調べ学習	・授業プリント ・発表 ・調べ学習

※令和７年度以降入学生用

２学期	自然環境と生活文化	1　地球上の地形のなりたち 2,3　山地と平野/海岸部の生活 4　地球上の気候のなりたち	a:地形や気候のなりたちに関する知識を身につけ，それぞれの地理的事象について世界的な視野から読み取ることができる。 b:地形や気候のなりたちについて，プレートテクトニクスや大気大循環，海洋分布などと関連づけながら，その成因と分布の特徴を世界的視野から考察できる。 c:世界の地形・気候のなりたちと生活文化・産業とのかかわりについて，興味・関心をもって授業に臨んでいる。	・小テスト ・定期考査 ・授業プリント	・定期考査 ・発表 ・調べ学習	・授業プリント ・発表 ・調べ学習
	産業の発展と生活文化	1　農業の地域性 2　工業の地域性	a:世界の産業の特徴を捉え，分布や変化を概観することができる。 b:世界の産業の特徴を地域ごとに比較し，自然環境や生活文化との関連性を考察している。 c:身近な商品がグローバル化の進む産業構造の中に位置づけられることを捉え，産業と自分との関わりについて意欲的に探究しようとしている。	・小テスト ・定期考査 ・授業プリント	・定期考査 ・発表 ・調べ学習	・授業プリント ・発表 ・調べ学習
	言語・宗教と生活文化	1　世界の言語 2　世界の宗教 3　仏教圏の生活文化 4　キリスト教圏の生活文化 5,6　イスラーム圏の生活文化	a:世界の言語や宗教，民族に関わる現代社会の諸課題の背景や現状を概観することができる。 b:世界の言語・宗教の空間的な分布とその要因を考察し，自然環境や歴史的背景と関連させて考察している。 c:世界の言語・宗教の多様性と生活文化の関わりについて，興味・関心をもって積極的に調べようとしている。	・小テスト ・定期考査 ・授業プリント	・定期考査 ・発表 ・調べ学習	・授業プリント ・発表 ・調べ学習

※令和７年度以降入学生用

	グローバル化の進展と生活文化	1～3　地域統合　EU 4～6　グローバル化　アメリカ	a:地域統合やグローバル化による成長と課題，生活文化の変容について，主題図や写真などの資料から読み取ることができる。 b:グローバル社会で世界をリードする産業の発展と企業の国際化の過程を捉え，アメリカの変容，日本とのつながりについて考察し，まとめている。 c:グローバル化が自分の生活と繋がっていることを踏まえて，グローバル社会に対する自分なりの意見をもとうとしている。	・小テスト ・定期考査 ・授業プリント	・定期考査 ・発表 ・調べ学習	・授業プリント ・発表 ・調べ学習
３学期	人口・食料問題	1　世界の人口問題 2　人口増加　中国とインド 3　世界の食料問題	a:世界人口の急増によって生じる問題を世界的視野から理解できる。 b: 人口問題を気候変動やモノカルチャー経済などの社会的・自然的背景と関連させながら構造的に捉え，グローバル・ローカルな視点から解決方法を構想できる。 c: 人口に関わる世界の諸問題について，その背景や構造を捉え，主体的に考察できる。	・小テスト ・定期考査 ・授業プリント	・定期考査 ・発表 ・調べ学習	・授業プリント ・発表 ・調べ学習
	資源・エネルギー問題	1　世界の資源・エネルギー 2　エネルギー資源の生産・消費と課題 3　再生可能なエネルギーへの移行	a:エネルギー資源の持続可能な利活用と安定供給を実現するために，再生可能エネルギーや省エネルギー技術，鉱産資源のリサイクルについて理解できる。 b:エネルギー資源の持続可能な利活用と安定供給を実現するため，化石燃料や再生可能エネルギーのメリットやデメリットを比較し，考察できる。 c:エネルギー資源の問題が，自然環境・政治・経済・国際関係などと幅広く関連していることを理解し，世界的な視野からSDGsを達成するために主体的に考察しようとしている。	・小テスト ・定期考査 ・授業プリント	・定期考査 ・発表 ・調べ学習	・授業プリント ・発表 ・調べ学習

※令和７年度以降入学生用

	自然環境と防災	**1　風水害/火山/地震･津波と防災** **2 防災･減災への心構え**	a:自分の生活圏における防災や減災の取り組みについて，新旧地形図やハザードマップなどを読み取る技能を身につけている。 b:自らの生活圏の防災や減災について，新旧地形図やハザードマップ，GISなどを活用しながら考察し，具体的な課題と避難行動を構想することができる。 c:自らの生活圏で災害が発生すると想定し，自助・共助・公助の観点から地域住民としての自覚をもって，主体的に避難行動を構想している。	・小テスト ・定期考査 ･授業プリント	・定期考査 ・発表 ・調べ学習	･授業プリント ・発表 ・調べ学習

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度